

めぐみイエス・キリスト教会

2021年8月8日(日)第二主日礼拝
週報「通算第569号」



2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌340「救い主イエスと」	p. 540
【交読文】	No.10詩篇第31篇	p. 886
【賛美Ⅱ】	新聖歌248「人生の海の嵐に」	p. 382
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲No.8「神様の愛の言葉」	
【聖書朗読】	使徒の働き10章34節～43節(新約p. 255上段)	
【礼拝説教】	《証人シモン・ペテロ》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」	p. 235
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

●ポイント1.「すべての人の主です」とは？

※ローマ人への手紙10章10節～13節「使徒パウロの確信」(新約p.103)

10:10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

10:11 聖書はこう言っています。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」

10:12 ユダヤ人とギリシア人の区別はありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人に豊かに恵みをお与えになるからです。

10:13 「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

●ポイント2.「あなたがたは～ユダヤ全土に起こった事をご存じ」とは？

※マルコの福音書15章39・44節「ゴルゴタの丘の百人隊長」(新約p.103)

15:39 イエスの正面に立っていた百人隊長は、イエスがこのように息を引き取られたのを見て言った。「この方は本当に神の子であった。」

15:44 ピラトは、イエスがもう死んだのかと驚いた。そして百人隊長を呼び、イエスがすでに死んだのかどうか尋ねた。

●ポイント3. 証人としてのシモン・ペテロとは？

※使徒の働き1章8節「オリーブ山で主が昇天される直前に」(新約p.232)

1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」

※ルカの福音書24章33節～34節「復活された日の夕方に」(新約p.173)

24:33 二人はただちに立ち上がり、エルサレムに戻った。すると、十一人とその仲間が集まって、

24:34 「本当に主はよみがえって、シモンに姿を現された」と話していた。

※ヨハネの福音書21章9節～13節「朝の食事において」(新約p.229)

21:9 こうして彼らが陸地に上がると、そこには炭火がおこされていて、その上には魚があり、またパンがあるのが見えた。

21:10 イエスは彼らに「今捕った魚を何匹か持って来なさい」と言われた。

21:11 シモン・ペテロは舟に乗って、網を陸地に引き上げた。網は百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったのに、網は破れていなかった。

21:12 イエスは彼らに言われた。「さあ、朝の食事をしなさい。」弟子たちは、主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか」とあえて尋ねはしなかった。

21:13 イエスは来てパンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。

※ローマ人への手紙8章28節「すべてのことを益とされ」(新約p.310)

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画に従って召された人たちの為には、全ての事が共に働いて益となる事を、私たちは知っています。

◎先週のメッセージの概要【コルネリウスとシモン・ペテロ】

《ヤッファを出発した一行は、次の日カイサリアに到着しました。コルネリウスは、親族や親しい友人たちを呼び集めて待っていたとありますから、ペテロを見いだしたことは、すでに伝令によって伝えられていたのです。

ペテロが着くと、コルネリウスは迎えに出て、足もとにひれ伏します。この時、彼はローマの正装をしていたに違いありません。ところでコルネリウスは、なぜひざまずいたのでしょうか。それは、彼が長い間、真の神様を求め続けて来たからであり、また神の御前にへりくだされていたのです。

イザヤはこう言います。『いと高くあがめられ、永遠の住まいに住み、その名が聖である方が、こう仰せられる。「私は、高く聖なる所に住み、砕かれた人、へりくだった人と共に住む。へりくだった人たちの霊を生かし、砕かれた人たちの心を生かすためである。」』と。ペテロは彼を立たせます。「ご存じのとおり、ユダヤ人には、外国人と交わったり、訪問したりすることは許されていません。ところが、神は私に、どんな人のことも、汚れた者であるとか言ってはならないことを示されました。それで、ためらうことなく来たのです。あなたがたは、どういうわけで私をお招きになったのですか。」

ペテロの申し出に、コルネリウスは、自分に起こったことを語ります。そして、「今、私たちはみな、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、神の御前に出ております。」と述べたのです。

ここで、「主があなたにお命じになったこと」とは、主イエスがペテロに与えられた命令のことです。すなわち「主の証人となる」ことです。

「聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」十二使徒は、まさしく「主イエスの復活」の証人なのです。

また、「神の御前に出ております」と言う言葉から、コルネリウスとその場所に集まった人々は、真剣に神様を求めていることが分かります。このように、へりくだって神の御前に出ることこそが、真の礼拝になるのです。》

◎お知らせ

※次回第三主日礼拝は、平常通り8月15日(日)午前10時から行ないます。聖書勉強会・祈り会は、8月11日(水)各家庭において行ないます。